

令和6年度 地域を志向した研究 成果報告書

テーマ		地域防災に貢献できる医療系人材の育成			
研究者 組織	代表者	所属・職	薬学部 教授	氏名	賀川 義之
	連携 研究 者	所属・職	氏名	所属・職	氏名
		薬学部・教授	森本 達也	静岡県地震防災センター・所長	油井 里美
		薬学部・教授	賀川 義之	静岡県地震防災センター・危機情報課	室屋 南月
		薬学部・講師	刀坂 泰史	防災士	細貝 悠斗
		薬学部・助教	浜辺 俊秀	岐阜薬科大学教授	林 秀樹
		薬学部・講師	辻 大樹	丸子芦ヶ谷町自主防災委員会	片井 賢一
		薬学部・准教授	柏倉 康治	静岡県ふじのくに防災士会	海野 雅夫
		薬学部・助教	谷澤 康玄	静岡市保健福祉長寿局	望月 直美
研究の目的、 内容、方法、 研究成果、 今後の課題等	<p>静岡県を含む東海地域は、近い将来大地震が発生する可能性が高い地域として指定されており、地震対策が急務である。静岡県では防災について専門知識を習得した方を「ふじのくみ防災士/防災マイスター」として認定し、地域防災力を高める取り組みを推進している。有事の際には、地域防災に対して正しい知識を持った若者が求められることから、この静岡県の取り組みに静岡県立大学の学生が参加することには非常に重要なことと言える。そこで、本申請では、大学入学時から防災教育を行い、地震時に地域防災に貢献できる人材を育成することを目的とする。</p> <p>【しずおか学 「静岡の防災と医療」】 全学共通科目として実施し、地震学者・医療従事者など14名の講師陣のオムニバス形式にて、静岡県の防災体制、医療体制、救護活動などの講義を行った。本年度は419名の履修者があり、非常に好評であった。</p> <p>【防災演習「アドバンスト講習」】 薬学部5年生に対し、防災演習「アドバンスト講習」を実施した。本プログラムの受講者は、静岡県地震防災センターで講習・演習を行った。演習では、地震防災センター所長の油井里美氏より、静岡県の防災体制について、防災士の細貝悠斗氏より中越地震の被災体験、被災を乗り越えるための心構えを、岐阜薬科大学の林秀樹教授より、トルコ地震の際に国際緊急援助隊・医療チームの薬剤師としての活動、能登半島地震での活動、災害時の薬事事情などについて講演頂いた。また、ふじのくに防災士の海野雅夫氏より地震災害机上訓練イメージTEN、自主防災委員である片井賢一氏より避難所運営机上訓練HUGを通して、災害時における机上訓練を行った。</p> <p>【地域住民への防災教育】 静岡市中央体育館、静岡伊勢丹にて災害時の備えなどの紹介を行った。今後、このような活動を継続していくことで、静岡県内の防災と医療を推進する活動を理解するとともに、被災地支援や復興に貢献できる人材の育成につながることを期待される。</p>				

※別途研究成果資料を添付する。

令和 7年 2月 14日 提出

別途報告書

しずおか学 静岡の防災と医療 講義風景



地震防災センターでの演習風景



しずおか伊勢丹での活動

